

芸術祭大賞・文部省特選
毎日映画コンクール大藤信郎賞
教育映画祭最優秀作品賞・文部大臣賞
動物愛護映画コンクール優秀賞・文部大臣賞
赤十字映画祭特別大賞・最優秀賞

ばあさま 「なに？ 病気を直すじょうりだとう？」

おこん 「んだ」

と、唄いだす……

おぼろさま

カラー 25分

小学・中学・一般／特別活動・親子映画会

販売価格 16mm 一六五、〇〇〇円・VTR 五〇、〇〇〇円

中央児童福祉審議会推薦
日本映画ペンクラブ特別推薦
優秀映画鑑賞会推薦
キネマ旬報ベストワン



アニメーション映画

すいせんのごじは 手塚治虫

「おこんじょうり」は、さねとうあきらさんの原作だそうです。しかし、この映画はまちがいに岡本さんの創造した作品であり82年度に生み出されたアニメの傑作と申してよいでしょう。

「あれはだれ」という糸くずを使った実体アニメの名作、あの精神がこの映画にもいっぱい溢れています。それは生きものへの限りなく暖かいけあましの目です。この映画でもおあさんとおこんの生きる努力と助け合いが、せつせつと、時には力強く描かれ、現代人が忘れかけている素朴な感動を目覚めさせます。それは岡本芸術に共通するすばらしいテーマです。

それにしてもおこんの色つぼさとかわいらしさはどうでしょう。夕焼けの山道の美しさと共に、見事な技術がアニメとしての価値を最高のものになっています。

桜映画社／エコー社・共同製作作品



「こころのふれあい、思いやる心の大切さを感じとらせよう」

全国視聴覚教育連盟事務局長

関口 勇

郷土色豊かなはりこ人形そしてセツトの小道具や背景は東北山村の雰囲気を実にうまく出している。話の筋はすっきりしてわかりやすく子ども向けとして申し分ない。婆さまとおこんのおりなすユーモア溢れる行動を通して、二人のほのぼのとした心のかよい、互いに思いやる心のあたたかさが見る子どもたちの心にじーんと伝っていくことだろう。その気持を素直に話させると、さぞかし自然の天の声がきけるのではないかと。どきついアニメを見慣れた子には一服の清涼剤として人間の心に目を開くことになる。特活や子ども映画会にぜひ活用したいアニメーションとしてすすめる。

子どもたちからも感動の声

〇方言をしゃべるところが、すてきなおもしろかった。(港区臨川小学校六年男子)

〇きつねの歌(じょうろり)がとてもきれいでした。あのおばあさんの心の中に、あの歌がのこっていたんだなと思いました。(女子)
〇おこんが、おばあさんのみがわりになるとは、かわいそうだった。でもおこんは、とてもおばあさんをもつていて、やさしいなあと思いました。ほんとにおばあさんはおこんに会えてよかった。(女子)

あらすじ

まじないで厄払いをする。この婆さまは、最近もうろうで、へまばかりやってふさぎこんで寝こんでいた。

そんなある夜、腹をへらしたきつねのおこんがやってきた。

おこんがじょうろりをうなると、婆さまはすっかり愉快な気持ちになつて曲がつた腰もしゃきつとなつた。そこで婆さまは、おこんを背中に隠して、村人の病気を直しに出力けたが……。

さびしい者どうしの婆さまとおこんとの出会いから、二人がくりひろげるユーモラスでほのぼのとしたやりとり、その中にしみじみとしたふれあいのあたたかさを描き出します。

制作にあたって 岡本忠成

この作品を制作するのに次の事項に注意しました。

主人公のキツネが語るじょうろりをどんなものにするか? 話が東北の田舎のものであるから、文楽の義太夫節のようなものでなく、津軽三味線を用いてもっと土くさく、詞章も単純でユーモラスな楽しいものを作心かけました。

画面としては、キャラクターと背景を郷土玩具にある張子や泥人形の美術様式で統一し物語の雰囲気を生かせるようにしました。

劇中の語りやセリフは長岡輝子さんをはじめ、東北出身の方々の協力で、本格的なものをねらいました。

もちろん他府県の人でも理解できる範囲内のことですが、方言にある多様性や美しさが失われつつある現在、こんなささやかな作品の中にも少しはとどめておきたいと思いました。

そしてこの作品全体からは、打算や物欲の中からでさえ芽生えてくる真実の愛情という主題を通して、人と人(動物)とのつながりのせつなさ美しさ、他人への思いやり、やさしさといったものが観客に少しでも伝わればと願っています。

製作スタッフ

製作 村山英世・岡本忠成

原作 さねとうあきら

脚本・演出 岡本 忠成

人形 保坂 純子

背景 若佐ひろみ

渡辺 静子

アニメーション 藤森 誠代

長崎 希

吉田 悟

撮影 田村 実

作詞 東川 洋子

音楽 高橋祐次郎

録音 甲藤 勇

声の出演 長岡輝子 ほか

企画・製作 桜映画社/エコー社

配給元

株式会社 桜映画社

TEL 〇三(三三三三)六六一一
FAX 〇三(三三三三)七六六六
〒151 東京都渋谷区代々木一丁目57-1

配給